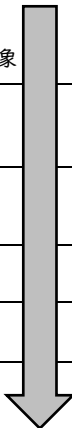


進路だより

福島県立猪苗代支援学校
進路指導部
令和7年4月28日

進路指導部では、今年度も「進路だより」を発行します。猪苗代支援学校の進路指導・学習の様子や、さまざまな進路情報などについてお知らせします。保護者の皆さまと一緒に児童生徒一人一人の生活と進路について考えていきたいと思いますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

◆進路指導部年間計画◆

	内 容	
4	進路希望調査（小・中・高1）	ケア会議 アフターケア
5	卒業生アフターケア ○進路学習会【5/16(金)】	
6	前期校外・校内実習【中：6/2(月)～6/6(金) 高：6/2(月)～6/13(金)】 校内実習見学（保護者）	
7・8	進路セミナー【7/4(金)】 高等部進路相談会（保護者、本人 実習反省・後期実習・進路先相談）※高3生対象	
9・10	高等部後期実習先決定（打ち合わせ・契約）	
11	後期校内・校外実習【中高：11/10(月)～11/21(金)】 実習見学会（保護者）	
12	進路相談（随時） ○特別実習（高3）	
1	進路相談会（高等部生徒）	
3	進路先との契約	

進路の言葉ってむずかしいですね。下の説明を参考にしてください。

高等部進路相談会：夏休みの時期に、今後の進路の方向性を話し合います。
ケア会議：地域の相談員が主催で行う、子供のための進路相談や情報交換会。
アフターケア：学校を卒業した生徒の仕事の様子を見るなどして支援をします。
進路セミナー：保護者を対象に、仕事場の職員などをお招きしてセミナーを開催します。
特別実習：高等部3年生のみ、必要に応じて特別実習を行います。
進路学習会：児童生徒を対象に就労先の方や卒業した先輩をお招きして進路のための学習会を行います。



令和6年度高等部卒業生 進路報告

令和6年度卒業生は、一般企業、就労継続支援B型事業所、生活介護事業所等への就労が決まりました。保護者の皆様や関係機関との連携を図り、校外実習や事業所の見学等を実施しました。今年度も保護者の皆様や関係機関と協力しながら、生徒の進路実現に向けて着実に準備を進めてまいります。よろしくお願いいたします。

< 進路先 >

- 一般企業
・ヤマト運輸株式会社
- 就労継続支援B型事業所
・ふくしの家
- 生活支援事業所
・Mamiya つどいの家
- 就労移行支援事業所
・かるみあ



学校では身に付けるべき必要な力や態度について学部間でつながりをもたせながら、進路実現に向けた学校教育活動が進んでいます。それぞれの家庭においても、日々の生活を振り返りながら確認してみてください。

◆キャリア教育:各学部段階における育成すべき能力や態度◆

※猪苗代支援学校キャリア教育全体計画参照

	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
小学部	- 健康でよく動く身体 - 排泄、着替え、身だしなみ - 手洗い、歯磨き、自分で食べる力 - あいさつや返事をする - 自分自身のことがわかる	- 体調や気持ちを伝える - 自分の身体への関心 - 自分の係の仕事、他の物の区別 - 生活リズム、生活習慣を身につける - 友達と役割を分担し、積極的に取り組む	- 好きな遊び、ルールのある遊び - 危険なことや危険な場所を知る - 硬貨や紙幣の種類を知る	- 身の回りの人や環境に関心をもつ - 交通ルール、信号の理解 - 仕事や役割に関心をもつ - 公共施設の名称や利用方法を知る - 好きな遊び、ルールのある遊び
中学部	- 衣服の調節、清潔 - マナーを守った食事の仕方 - 場に合ったふるまい、あいさつ - 自分の長所と短所を知る - いやなことをいやと言える - 学校や社会のルールを理解する	- 自分の身体の成長に関心をもつ - 体調が悪いとき、けがをしたときの対応方法がわかる - 達成感を味わい自己を肯定することができる - 目標達成について自己評価ができる	- 役割を分担し、責任をもって取り組む - 持ち物の管理、貸し借りのマナー - 金銭管理、買い物の仕方	- 実習先見学や校外での学習を通して、様々な職業があることを知る - 働くことへの関心を持ち、自分の夢ややりたいことを思い描く - 公共の施設や交通機関の利用体験 - ルールや時間を守った余暇の使い方
高等部	- TPOをわきまえた身だしなみ - 所持品の整理、生活リズムの確立 - 支援を求めたり相談したりする - 感謝や謝罪の気持ちを伝える - 社会の仕組みやルールを理解し、自分から社会参加しようとする	- 健康や安全への理解を深め、健康管理や維持に努める - 様々な福祉制度やサービスを知り、卒業後の生活を具体的に考える - 自分の好きなこと得意なことを伸ばし、自己肯定感を培う	- 実習や体験を通して、自己の適正を知り、課題に向かって努力する - 予算に応じた買い物、給料の使い方	- 実習や体験を通して、自分の進路に主体的に考え選択する - 希望する進路の実現を目指して、目標や課題を設定して取り組む - 目的地までの交通機関の利用 - 余暇の充実



家庭や学校の様々な生活場面において何気なく行っていることが、将来の進路実現に確実につながって行くことが分かります。

より意識しながら取り組んだり、向き合ったりするだけで、豊かな生活への第一歩となります。

家庭での手伝いが様々な仕事にもつながっていきますので、ぜひお子さんが小さい頃から得意なことを見つけ、責任をもってやり遂げられるよう自信をもたせてほしいと思います。

